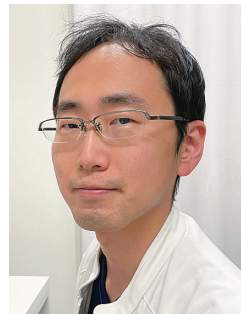


The Specialists

東邦大学医療センター大橋病院
消化器内科

医師 吉田 有輝



カプセル内視鏡について

●カプセル内視鏡の歴史

カプセル内視鏡は1994年に世界で初めてとなるカプセル内視鏡研究報告が発表され、2001年に小腸用カプセル内視鏡が欧州、米国で認可を受けました。日本では2007年4月に薬事承認され、同年10月に保険適応となりました。2012年には消化管の開存性を評価する崩壊性カプセル（パテンシーカプセル）が保険適応となりました。消化管の開存性を確認することによって、クローン病などの消化管狭窄を来す疾患に対しても、小腸カプセル内視鏡が使用することが可能になりました。

また、2013年7月に大腸用カプセル内視鏡が薬事承認され、2014年1月に保険適応となりました。



小腸カプセル内視鏡

●カプセル内視鏡の適応

小腸用カプセル内視鏡の現在の適応は小腸疾患が既知または疑われる患者さんです。主な疾患は原因不明な消化管出血やクローン病、消化管ポリポシスなどです。

クローン病などで消化管狭窄又は狭小化を有する又は疑われる場合には、パテンシーカプセルを使用し、消化管の開存性を評価した後に検査が可能です。

大腸用カプセル内視鏡は大腸内視鏡が必要であり、大腸内視鏡を施行したが、回盲部まで到達できなかった患者さま、腹部手術歴があり癒着が疑われる場合や器質的異常により通常の大腸内視鏡の挿入が困難と予想される患者さまです。2020年より適応が拡大され身体的負担により大腸内視鏡が実施困難な場合や放射線医学的に大腸過腸症と診断されており、かつ慢性便秘症で大腸内視鏡検査が実施困難と判断された場合にも適応となりました。

一方で既知の高度消化管狭窄や腸閉塞を有する患者さま、腹部放射線照射歴を有する患者さま、心臓ペースメーカー又は他の電気医療機器が埋め込まれている患者さま、嚥下障害がある患者さまなどは、禁忌ないし慎重に適用を判断する必要があります。

●カプセル内視鏡の仕組み

超小型カメラと撮像した画像を無線送信できる機能を内蔵したカプセル内視鏡、その画像を受信するセンサーアレイとデータレコーダー、および専用ソフトウェアがインストールされたワークステーションで構成されています。

カプセル内視鏡は、腸管内を通過しながら、腸粘膜の写真を撮像・記録します。カプセル内視鏡は最終的に肛門より自然排出されます。カプセル内視鏡には、フラッシュの役割をする白色LED、バッテリー、画像データ送信機、および小型のイメージセンサなどが内蔵されています。

小腸カプセル内視鏡は長さ約26mm、直径約11mm、大腸カプセル内視鏡のサイズは長さ約32mm、直径約12mmです。大腸カプセル内視鏡には前後に内視鏡カメラが搭載されています。



カプセル内視鏡システム

●小腸カプセル内視鏡検査の流れの一例

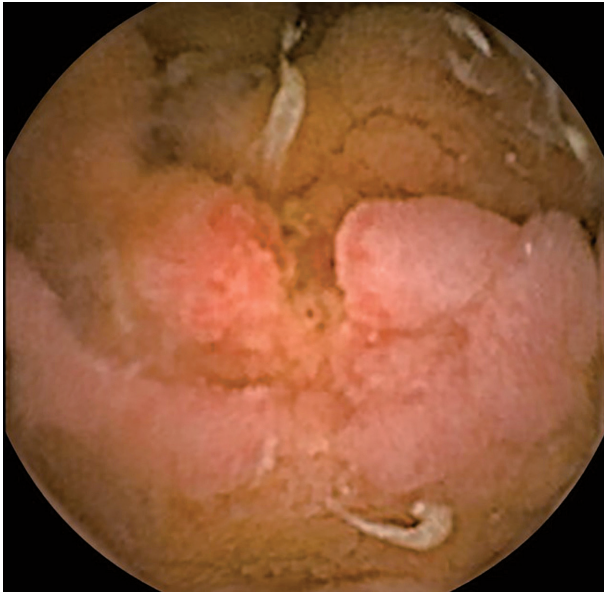
- ①検査前日の夕食は消化の良いものを摂取します。
- ②検査の8時間前より絶食。内服薬は適宜内服可。(担当医とご相談ください)
- ③検査当日来院いただき、検査機器を装着します。
- ④適量の水と一緒にカプセル内視鏡を飲み込みます。カプセル内服後は離院していただいて構いません。

- ⑤カプセル内服より2時間後から飲水可、4時間後より軽食可となります。
- ⑥検査開始より約8時間後に再度来院していただき、検査機器を外します。
- ⑦後日通常は排便とともにカプセルが体外に排出されます。
(排出されたかどうか分からない場合はX線検査などで確認します。)
- ⑧後日改めて外来に受診していただき検査結果を説明いたします。

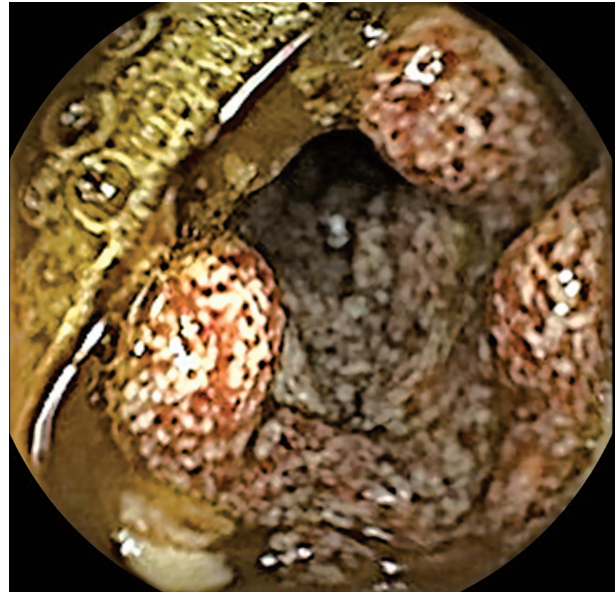
●終わりに

カプセル内視鏡についてご紹介いたしました。当院では2013年に小腸カプセル内視鏡を導入し200件以上の検査を施行しております。大腸カプセル内視鏡は未導入ですが、今後患者さまのニーズがあれば答えていきたいと考えております。地域の中核病院として皆様のお役に立てるようにこれからも努力してまいります。今後ともご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

■外来診察日：火曜日 午後、水曜日 午前



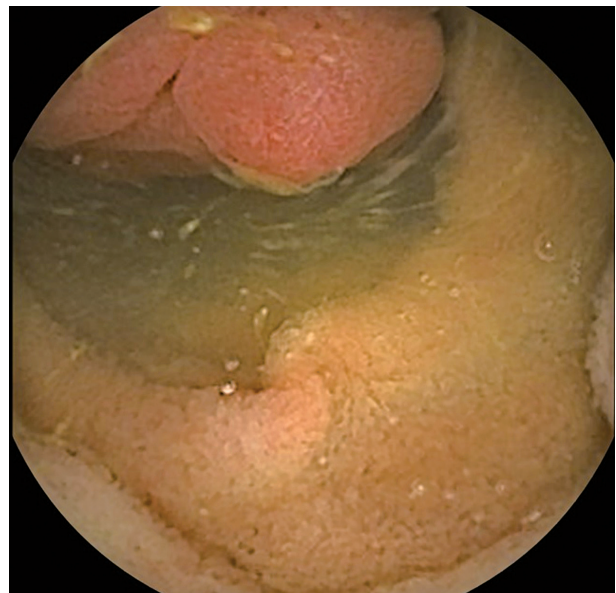
小腸潰瘍



小腸海綿状血管腫



小腸出血



小腸過形成性ポリープ

診療のご予約は・・・

病診連携部門あてに「診察・検査FAX予約申込書」をお送り下さい。

病診連携連絡先

病診連携部門

TEL: 03-3481-7385 FAX: 03-3468-6191



東邦大学 | 大橋病院
医療センター | Toho University Ohashi Medical Center

〒153-8515 東京都目黒区大橋2-22-36 電話 03-3468-1251
http://www.ohashi_med.toho-u.ac.jp/
携帯用サイト http://www.ohashi_med.toho-u.ac.jp/m/

